

◆ トラブルシューティング

電源が入らない (パワーランプが光らない)	電源が接続されていません。テスター等で導通の確認を行ってください。アースがきちんと接続されているか確認してください。 電源ケーブル（赤色の線）の中腹にヒューズボックスがありヒューズ管が入っています。ヒューズ管が切れている場合は交換して再度お試しください。
映像が表示されない (パワーランプは光っている)	リモコンをしっかりと赤外線受信部に向け、電源ボタンを押してください。 RCAケーブルにて接続をお試しください。 HDMIのみ映像が出力されない場合、モニターが1080pの解像度に対応していない可能性があります。別のモニターでお試しください。
画面にノイズ（横線・乱れ）が表示される	他の機器からのノイズの影響を受けている可能性がございます。本機器以外の電源をオフにし改善される場合は他の機器と干渉しているので設置距離を離す・別の場所から通電する・フェライトコアを利用するなどノイズ対策を行ってください。
チャンネルが見つかりませんと表示される	放送局が受信出来ていません。電波状況が良い場所へ移動しスキャン（チャンネルサーチ）（P.6 参照）を行ってください。
フルセグにならない	B-CASカードがきちんと差し込まれているか確認してください。 フィルムアンテナとアンテナケーブルがきちんと接続されているか（金属部が密着しているか）ご確認ください。電波状況が良い場所へ移動してください。
リモコンが動作しない	Android 端末のカメラ機能を起動して、リモコンの信号発信部分をカメラの画角に収めた状態でボタンを操作しリモコンの発信部が点滅するかどうかお試しください。 点滅しない場合…別の電池でお試しください。電池を交換しても改善しない場合はリモコンが不具合の可能性がございます。 点滅する場合……今一度、本体の赤外線受信部もしくは向けて赤外線受信ケーブルの受光部に向けて操作をお試しください。

4×4 車載用 地上デジタル TV チューナー

～ご使用前に取扱説明書をよくお読みください～

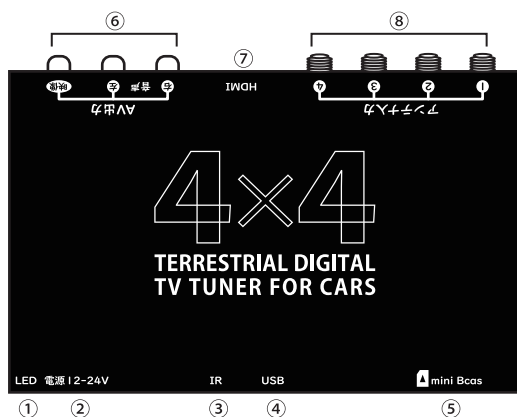


このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用前に、この説明書を必ずお読みいただき、
お読みいただいた後は、大切に保管してください。

◆仕様

電源	DC12V・DC24V
標準テレビジョン信号受信感度	85dbm
EPG(電子番組ガイド)情報	対応
CVBSビデオ信号出力	PAL/NTSC 選択可
スキャン	自動/手動スキャン可能
字幕表示	対応
メニュー言語	日本語/英語
電源入力	DC12V~24V
RCA映像出力	2ライン
RCA音声出力	1ライン(LR)
HDMI出力	1ライン(ver1.4)

◆本体各部名称



①パワーランプ	電源 ON 時に点灯します。
②電源ケーブル接続口	付属の電源ケーブルを接続します。
③赤外線受信部	付属のリモコン操作時に受光部として機能します。
④USB ポート	本機のソフトウェアバージョンアップ時に使用します。 ※通常使用では原則使用しません。携帯電話等の充電用としては利用できません。
⑤mini B-CAS カード挿入口	mini B-CAS カードを挿入します。
⑥RCA 出力端子	モニター・カーオーディオへの映像・音声入力に接続します。
⑦HDMI 出力端子	モニター・カーオーディオの HDMI 入力に接続します。 ※HDMI ケーブルは付属していません。
⑧アンテナ端子	アンテナ (SMA 端子) を接続します。

◆本体の設定

チューナー本体の設定を行います。

リモコンの設定ボタンを押すと設定メニューが表示されます。

受信設定・設定・システムの項目を左右キーで選択可能です。

●各項目について

設定メニュー	選択項目	機能
受信設定	自動/フルセグ/ワンセグ	優先して表示する受信方法の設定が可能です。自動を選択するとワンセグ・フルセグを自動で切り替えます。 フルセグ/ワンセグは選択された項目を優先して表示します。
中継局サーチ	オン/オフ	地域を移動した際、自動で中継局をサーチするかどうか選択します。
字幕	オン/オフ	字幕表示を表示・非表示を選択します。(字幕対応放送受信時)
言語	日本語/英語	メニュー言語を設定します。
音声設定	左チャンネル/右チャンネル /ステレオ	音声多重放送を受信している場合、左チャンネルは主音声、右チャンネルは副音声、ステレオは主+副音声で音声が流れます。
デバイス情報		B-CAS カードの情報・本体の ver が表示されます。
工場出荷初期化		本体設定をリセットします。

◆ご使用の際の注意事項

※本機をご使用になるときは必ずエンジンを始動してください。エンジンが停止している状態で使用すると車のバッテリーが消耗します。

※本機は自動車専用です。移動して電波を受信するため、家庭用のチューナーと比較して受信可能エリアが狭くなります。デジタル放送は受信感度が低くなると、映像にブロックノイズ・音声の途切れが発生します。これらはデジタル放送特有の現象で故障ではありません。

※携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を本機やアンテナ・アンテナケーブルに近づけるとその影響で映像・音声などに不具合が生じる可能性があります。それらの機器とは離してご使用ください。

※モニターからのノイズや、ドライブレコーダーのGPSなど電波干渉の影響でデジタル放送の受信感度が低下することがあります。設置時は該当の機器と離してご使用ください。

◆操作説明

電源の入れ方

電源が接続され通電していると本製品のパワーランプが赤色に点灯します。パワーランプが点灯中にリモコンの電源ボタンを押すと製品の電源がオンになります。再度押すとオフになります。

スキャン (チャンネルサーチ)

本製品を初めて使用する際、必ずスキャン (チャンネルサーチ) が必要です。

画面にゲージが表示され、進行とともに左から右に緑色のゲージが伸びていき右端に到達するとスキャン完了です。リモコンのスキャンボタンを押すことで任意のタイミングでスキャンを行うことが可能です。遠方に移動し放送が受信できない場合にスキャンを行ってください。

※電波状況が良い場所で行ってください。

チャンネルの変更

リモコンの数字ボタン、CH+/-を押すことで視聴チャンネルを変更できます。

※電波の受信状況が悪い場合、数字ボタンに放送局が割り当てられない場合があります。

◆リモコン各部名称



① 電源ボタン	電源のON/OFFを切り替えます。
② ミュートボタン	音声ミュートのON/OFFを切り替えます。
③ 数字ボタン	数字を入力するとき (チャンネル選択) に使用します。
④ 設定ボタン	設定メニューを表示します。
⑤ 戻る	設定操作を1つ前に戻す、または前の画面に戻ります。
⑥ 上/下/左/右	項目を選択するときに使用します。
⑦ 決定ボタン	各操作内容を決定します。
⑧ 表示	現在受信している放送局のリストが表示されます。
⑨ 退出	メニュー操作中はメニュー画面を閉じます。番組視聴中に押すと、前回視聴していたチャンネルを表示します。
⑩ CH+/-	視聴チャンネルを1つずつ切り替えます。
⑪ VOL+/-	音量を調整します。
⑫ 言語	言語を設定します。
⑬ 音声	副音声がある放送を受信中は主音声・副音声が選択できます。
⑭ 初期化	製品設定を工場出荷状態に戻します。
⑮ スキャン	番組を検索・登録します。
⑯ オート	電波状況に合わせてフルセグ・ワンセグを自動で切り替え快適に受信します。
⑰ フルセグ	フルセグを優先して受信します。
⑱ ワンセグ	ワンセグを優先して受信します。
⑲ 番組表	番組表を表示します。
⑳ 番組内容	現在視聴中の番組内容を表示します。
㉑ 字幕	字幕設定を行います。
㉒ データ	現在視聴中の放送局の情報を表示します。

リモコンの準備

①リモコン裏側の電池カバーを開けます。

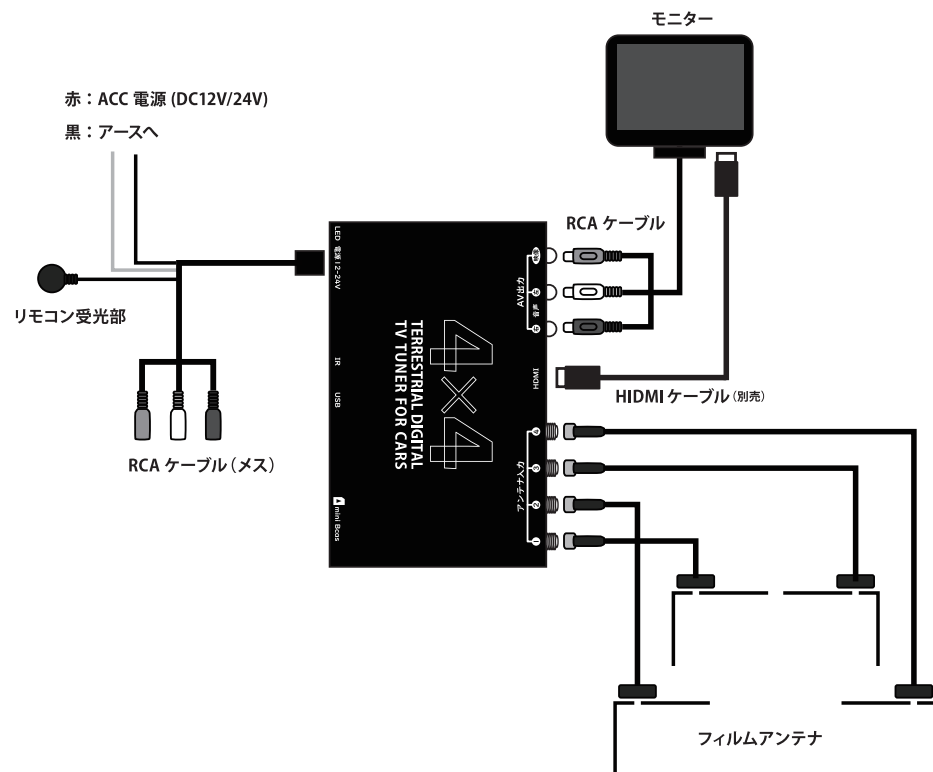
②単4型乾電池を+の表示通りに2本入れてください。

③電池カバーを元通りに閉めてください。

※映像入力先のナビやモニターに向けて操作しても本製品は動作しません。

必ずチューナーの赤外線受信部もしくは赤外線受信ケーブルの受光部に向けて操作してください。

◆ 接続方法



◆ Mini B-CAS カードの挿入

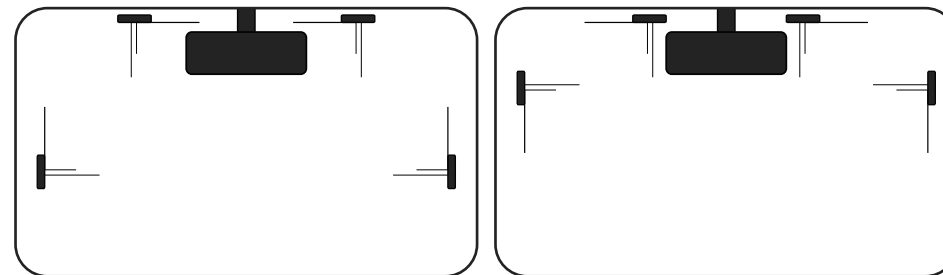
本製品付属の B-CAS カードをカードスロットに (カチッと音がするまで) 挿します。
miniB-CAS カードは文字がある面を上、チップの接点側を下にして挿入してください。

◆ フィルムアンテナ取付方法

アンテナは剥離紙とアンテナ部の二層に分かれています。

- ① クリーナーなどを利用してガラス面の汚れの除去・脱脂を行う。
- ② フィルムアンテナを張る位置をセロテープ等で仮止めして、位置を決める。
- ③ 貼り付け位置が決まったら、以下の例を参考にフィルムアンテナの剥離紙を外してガラス面に貼り付ける。
- ④ アンテナケーブル端子の剥離紙を外し、金属の部分とフィルムアンテナの端子が接触するように貼り付ける。

■ フィルムアンテナ取り付け位置の参考



※フィルムアンテナの貼り付け場所は、フロントガラス 4 枚ではなくフロントガラス 2 枚+リアガラス 2 枚でも問題ありません。

フィルムアンテナ貼り付けの注意事項

- ※保安基準に合わせた取り付けを行ってください。
- ※熱線吸収ガラス等、特殊加工を施したガラスへの取り付けは性能を十分発揮できない可能性があります。
- ※電波妨害を防ぐため、他のアンテナ (GPS 等も含む) からアンテナ同士は最低でも 10 ~ 20cm 離して設置してください。

地上デジタル放送を受信しにくい場所

- ・ビルとビルの間を走行または停車している
- ・上空を飛行機が通過または電車が近くを通過しているときなど
- ・送電線の付近を走行している場合
- ・山かげや木立ちの影など樹木の密集した場所
- ・トンネルや鉄橋を走行している場合
- ・自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどの近く
- ・ラジオ放送、アマチュア無線局の放送アンテナの近く